

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

製品名	バスコンパクト
会社名	ミッケル化学株式会社
住所	東京都江東区石島2-14
電話番号	03-5633-2520
FAX番号	03-5653-3575
担当部門	研究開発室
緊急連絡電話番号	072-268-1181

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	金属腐食性物質 分類できない
健康有害性	
急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（麻酔作用、気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器、肝臓）
誤えん有害性	分類できない
環境有害性	
水生環境有害性（急性）	区分2
水生環境有害性（慢性）	分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ、
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器、肝臓）
水生生物に毒性

注意書き

[予防策]： 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護メガネを着用すること。

- [対 応] : 飲み込んだ場合 :
 口をすすぐこと。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 :
 多量の水で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚刺激が生じた場合 :
 医師の診察／手当てを受けること。
 吸入した場合 :
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 眼に入った場合 :
 水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 :
 医師に連絡すること。
 漏出物を回収すること。
 [保 管] : 密閉して保管すること。
 [廃 棄] : 内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
成分	界面活性剤 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩 (法令名 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩) 脂肪酸塩 溶剤 グリコール系 金属イオン封鎖剤 カルボン酸塩 除菌剤 香料

【4. 応急措置】

吸入した場合	新鮮な空気の場所へ移動する。
皮膚に付着した場合	水で十分に洗い流す。 刺激を感じた時は医師の診断を受ける。
眼に入った場合	速やかに流水でよく洗眼する。コンタクトレンズは外す。 状態に変化が見られた場合、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。 異常がある時は速やかに医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	知見なし

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。

【6. 漏出時の措置】

保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護メガネ、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。
	屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
	多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
	大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
	多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
安全取扱い注意事項	取扱い後は手をよく洗う。
接触回避	知見なし
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管する。
	他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

【8. ばく露防止及び保護措置】

保護具:	
呼吸器の保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	保護手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	黄色～黄褐色(二層に分離し、混合時に濁る)
臭い	フローラル香
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	データなし
引火点	116℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	8.4±0.2(原液、25℃) 7.5±0.5(5倍希釈液、25℃)
動粘性率	データなし
溶解性	水と任意の割合で混合
オクタノール/水分係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	相対密度(比重): 1.12±0.02(25℃)
相対ガス密度	データなし

粒子性状 該当しない

【10. 安定性及び反応性】

反応性	知見なし
化学的安定性	通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

急性毒性（経口）	データなし
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん/ミスト）	データなし
皮膚腐食性／刺激性	区分2 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1 重篤な目の損傷
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性） 呼吸器への刺激のおそれ 区分 3（麻酔作用） 眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓、呼吸器） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓、呼吸器）
誤えん有害性	データなし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

【13. 廃棄上の注意】

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。 内容物/容器は法令/規則に従って適切に廃棄すること。
--	--

【14. 輸送上の注意】

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制	適用法令の定めるところに従う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第57条及び第57条の2の政令で定めるもの	
	ジエチレングリコールモノブチルエーテル 30~40%
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	
	第一種指定化学物質 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 10.5% (管理番号:30)
毒物及び劇物取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (特別管理産業廃棄物)	該当しない
有害物質を含有する家庭用品の規則に関する法律	該当しない
化審法	該当しない
消防法	第9条の3 指定可燃物 (可燃性液体類)

【16. その他】

記載内容の問い合わせ先

会社名	ミッケル化学株式会社
住所	東京都江東区石島2-14
担当部門	研究開発室
電話番号	072-268-1181
FAX番号	072-268-1183

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。